



各 位

平成 19 年 10 月 22 日

ダム工学会
会長 山内 彪
副会長 中国・四国地区代表
阪田 憲次

平成 19 年度 ダム工学会中国・四国地区 現場見学会開催のご案内

拝啓、時下ますますのご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素よりダム工学会の運営につきまして、格別の御配慮と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。このたび、中国・四国地区の学会活動の充実を図るため、見学会を開催いたしますのでご案内申し上げます。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

記

- ・ **日 程** 平成 19 年 11 月 30 日 (金) (日帰り)
(集合場所、集合時間、行程等は別紙一 1 参照)
- ・ **見学場所** 独立行政法人 水資源機構 香川用水調整池 (香川県三豊市)
香川県 豊稔池 (重要文化財) (香川県観音寺市)
- ・ **講 演 会** 独立行政法人 水資源機構 吉野川局局長 杉村 淑人氏 (工学博士)
香川用水土地改良区相談役 長町 博氏 (農学博士)
- ・ **募集要項** 別紙一 のとおり
- ・ **参加申込** 別紙一 2 申込書に記入 第 1 回締切 平成 19 年 11 月 16 日 (金)
最終締切 平成 19 年 11 月 23 日 (金)
- ・ **参 加 費** 一般 1,000 円、学生 無料
(資料・バス・昼食代他当日受付時に徴収させて頂きます)
※集合場所までと解散後の交通費は各自ご負担願います。
- ・ **申込み・問い合わせ先**

ダム工学会 中国・四国地区現場見学会事務局
四国地区のお問合せ窓口・参加申し込み(中国・四国共通)

日本工営株式会社 四国支店
神田 重雄
TEL 087-836-0240 FAX 087-836-0245
E-mail a2134@n-koei.co.jp

中国地区のお問合せ窓口

日本工営株式会社 広島支店
大塚 杉夫
TEL 082-262-6607 FAX 082-262-3777
E-mail a2317@n-koei.co.jp

平成19年度 ダム工学会中国・四国地区 現場見学会 募集要項

募集要項

- ・ 開催日 平成19年11月30日(金)(日帰り・雨天決行)
- ・ 募集人数 50名 ※ダム工学会の会員以外の方、学生の方も参加可能です。
皆様お誘い合わせの上、奮ってご参加ください。
- ・ 申込期限 第1回締切 平成19年11月16日(金) 最終締切 平成19年11月23日(金)
- ・ 申込方法 別紙-2 参加申込書に所定事項をご記入のうえ FAX または メール 願います。
- ・ 申込先 ダム工学会 中国・四国地区現場見学会事務局 (別紙-2 参加申込書参照)
- ・ 参加費 一般 1,000円、学生 無料 (当日受付時に徴収させて頂きます)
- ・ 持参頂くもの 動きやすい服装(作業着等)、防寒具(雨天の際は雨具)
(長靴は不要ですが現場内を歩きます。歩きやすい履物でお越し下さい。)
- ・ その他 本見学会は土木学会の認定CPDプログラムへの登録を申請中です。

見学行程

項目	時刻	内容	備考
集合	①JR高松駅 8:00発	JR高松駅前14番バス乗り場 7:50集合・受付	ことでんバス 大型バス1台 ・集合希望場所を参加申込書に記入下さい。 ・集合場所までの交通の手配は参加者各自でお願い致します。
	②JR坂出駅 8:45発	JR坂出駅北口ロータリー 8:35集合・受付	
講演会 香川用水概要説明 琴平パークホテル	9:25~9:30	開催挨拶	岡山大学 大学院 環境学研究科 阪田憲次教授(ダム工学会副会長)
	9:30~10:00	講演① 「吉野川の治水・利水の 現状と課題について」	講師 (独)水資源機構 吉野川局 杉村淑人局長(工学博士)
	10:00~10:30	講演② 「豊稔池の築造」	講師 香川用水土地改良区 長町博相談役(農学博士)
	10:30~10:45	香川用水事業概要説明 工事実施状況説明	(独)水資源機構 香川用水総合事業所 小森清和所長
現場見学 香川用水調整池	11:00~12:00	右岸説明広場(全景)、堤体盛立面 等を見学予定	引率・説明 (独)水資源機構 香川用水総合事業所 八木浩敦工務課長
昼食	12:15~12:45	うどん亭 大庄屋	・昼食とお茶を用意しております。
水の資料館見学 香川用水記念公園	13:15~14:00	公園・資料館を自由見学	バス集合時間 14:00
ダム見学 豊稔池	14:30~15:30	堤体、貯水池周辺を見学予定	引率・説明 香川県西讃土地改良事務所 下河賢禎副主幹
現地出発	15:40発	高松自動車道経由	豊稔池→大野原 IC→坂出 IC→坂出駅
解散	②JR坂出駅 16:30着	希望者解散	・解散後の交通の手配は参加者各自でお願い致します。
	①JR高松駅 17:15着	全員解散	

※見学会は台風等の荒天ではない限り雨天でも実施します。

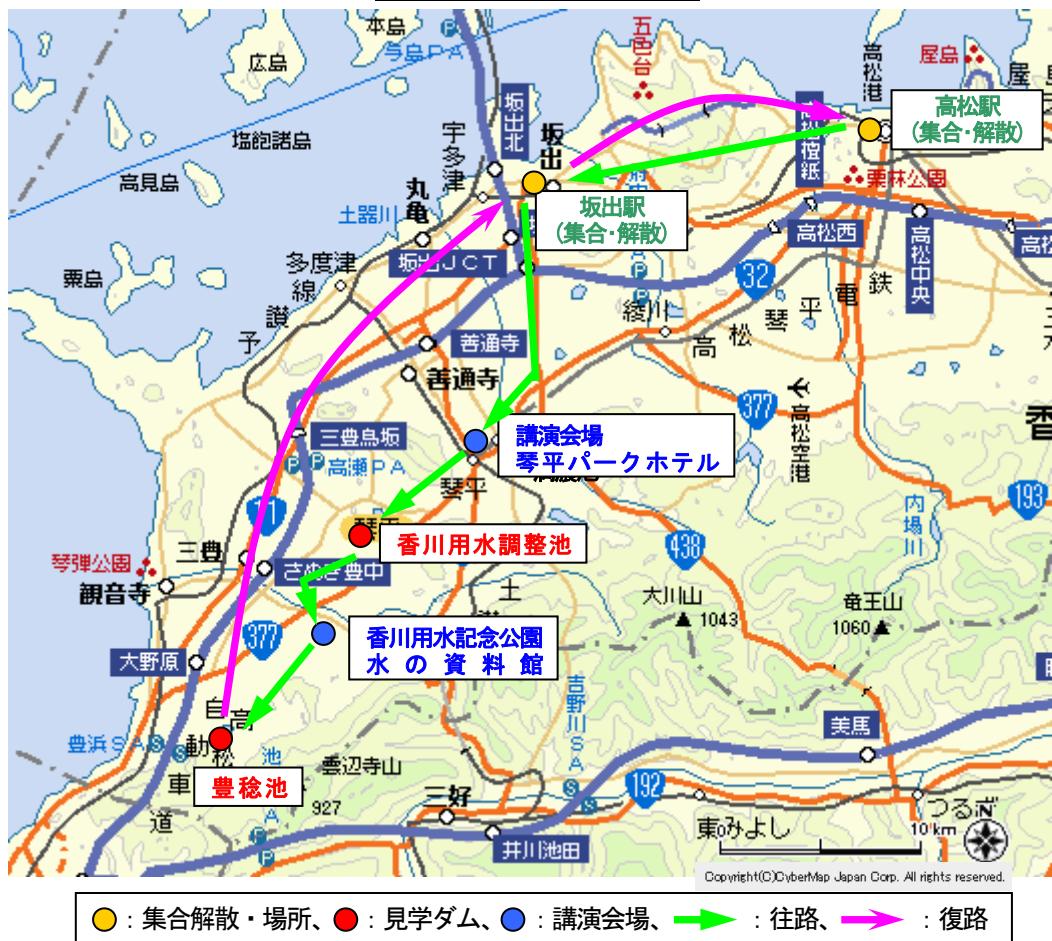
※集合場所までと解散後の交通機関の手配等は各自でお願い致します。

※当日の緊急連絡先 080-1280-7239 (日本工営株式会社 森岡)

090-2276-8663 (日本工営株式会社 神田)

上記がつながらない場合 082-836-0240 (日本工営株式会社 四国支店)

見学ダム及び見学ルート



地図データ : <http://www.mapion.co.jp>

●見学ダム等の概要等

①香川用水調整池(施工中)

事業主体：独立行政法人 水資源機構 香川用水総合事業所

施工者：大成建設・鹿島建設

ダム概要：河川名 財田川水系大池川

位 置 香川県三豊市山本町神田

型 式 傾斜遮水ゾーン型フィルダム

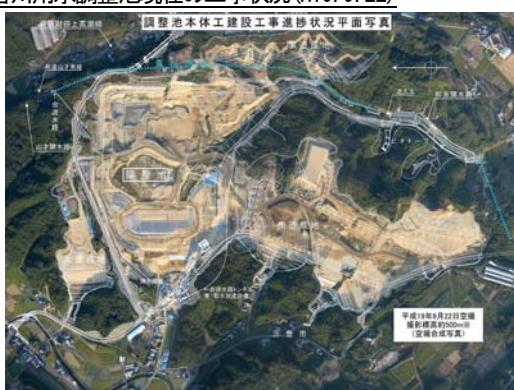
堤 高 25m

堤 頂 長 663m

堤 体 積 504,000m³

工事期間 H.11～H.20

香川用水調整池現在の工事状況(H19.9.22)



出典 : <http://www.water.go.jp/yoshino/kagawa/>

完成予想図



出典 : http://www.water.go.jp/yoshino/kagawa/html/kinkyu_001.html

②香川用水記念公園・水の資料館

管 理 者：財団法人かがわ水と緑の財団香川用水記念公園管理課

住 所：香川県三豊市財田町財田中 2355

開館時間：9:00 ~ 17:00（入館は 16:30 まで）

利用料金：入園・入館とも無料

香川用水記念公園



出典：<http://www5.ocn.ne.jp/%7Emizupark/shisetsu.htm>

水の資料館



出典：<http://www5.ocn.ne.jp/%7Emizupark/newpage1.htm>

③豊稔池（重要文化財）

事業主体：香川県

施 工 者：当初工事：事業者直営

補修工事：清水建設・フジタ

ダム概要：河 川 名 栃田川水系田野口川

位 置 香川県観音寺市大野原町五郷

型 式 マルティプルアーチ式コンクリートダム(石積み)

堤 高 30.4m (補修前 32.3m)

堤 頂 長 128m (補修前 158.4m)

堤 体 積 40,000m³ (補修前 21,000m³)

工事期間 当初工事：T. 15～S. 5、補修工事：S. 63～H. 4

下流面全景



出典：http://wwwsoc.nii.ac.jp/jdf/Dambinran/binran/A11/A11_3048.html

補修工事後の上流面



参加申込書

平成 19 年 11 月 日

FAX. 087-836-0245**ダム工学会 中国・四国地区現場見学会事務局****(日本工営(株) 四国支店 神田) 行****平成 19 年度 ダム工学会中国・四国地区 現場見学会 参加申込書**

日 程 平成 19 年 11 月 30 日 (金) 日帰り・雨天決行

集合・解散 JR 高松駅 8:00 集合 17:15 解散

JR 坂出駅 8:45 集合 16:30 解散

①所 属 名**②住 所** 〒 _____**TEL :****FAX :****E-mail :****③参加人数** 人 _____**④参加者名**

所属・役職名	氏 名 (会員又は非会員に○を記入)	集合場所 (1. 又は 2. に○を記入)	通 信 欄
(代表者)		1. 高松駅	
	会員・非会員	2. 坂出駅	
		1. 高松駅	
	会員・非会員	2. 坂出駅	
		1. 高松駅	
	会員・非会員	2. 坂出駅	
		1. 高松駅	
	会員・非会員	2. 坂出駅	
		1. 高松駅	
	会員・非会員	2. 坂出駅	

注 1) 集合場所までの交通機関については参加者各自にてご手配ください (解散後も同様)。

注 2) 参加者名を記入しきれない場合にはこの書式を複数枚提出してください。

ダム工学会活動に関する主旨（ダム工学会設立趣意書より抜粋）

ダム工学会は、国内における関連学協会はもとより、国際的な学協会及び研究機構との連携を図り、国際的な研究交流と協力においても先導的役割を果たすとともに、学者、研究者のみならず官界、民間の技術者にも広く参加・協力を求め、技術現場からの研究課題の発掘と研究成果の社会への速やかな還元を目指す。

以上の趣旨に基づき、本学会は、

1. 学際的かつ総合的研究を重視する。
2. 新技術の開発・応用など、創造的、先導的な研究を重視する。
3. 学際問題への適用を図るために、学、官、民の研究者、技術者の交流を促進する。
4. 国際的な交流と協力を積極的に図る。

を4つの柱として、ダム工学研究の向上発達を図ることを目的とする。具体的には次のような活動を予定している。

1. 学術講演会、シンポジウム、現地見学会などの実施
2. 学会誌「ダム工学」の発行
3. ダム工学に関する国内外の研究活動、会議等に関する情報の収集と伝達
4. 特定研究テーマに関する研究部会活動

（いくつかの研究部会を設け、横断的研究ならびに学、官、民の交流を推進する。）

ダム工学会地区活動について

平成17年6月20日開催のダム工学会第31回理事会において、地域ごとに学・官・民が情報交換できる機会を多く設けるため、ダム工学会の各地区活動を積極的に行うことが了承されました。

具体的には、各地区において現場見学会や技術検討会の開催等を行うことにより、地方在住の学・官・民の交流による情報交換、或いはダム工学の活性化を深めていくものです。